



～社訓\*誠意～

## 社長室だより



2019年9月末号

9月の「中秋の名月」はあいにくの天気深夜に雲の隙間から高く昇った姿を少し見ることができたくらいでした。秋は何となく高齢者向けの行事が続く気がします。

敬老の日・労働感謝の日・お彼岸。ガラガラ照りつく太陽から白い光を放つ月へ、もの悲しさ、哀愁を何となく感じます。10月に93を迎えるわが父は近頃念仏ばかり唱え、「三途の川をもうすぐ渡る。少し長生きしすぎた。だめですね～、近頃調子が悪い」と言いつつも毎日自分が創業した会社に行きたくて私の出勤に便乗しようと早朝から作業着を着て待ち構えている。あの一徹、ワンマンな父が哀れとも感じるが、ついイライラしてきつい言葉で受け答えしてしまう。「鬼娘」と父と同じ年の母は私をそう呼ぶ。「年寄りなんだからしょうがないじゃない、もう少し優しく言えないの！あんただってそうなるのよ！」おっしゃる通り。だがイラつく。身内にはどうしても寛容になれない。人間ができていないな～。2つの相反する感情。私たちが生きていくのにこの2つの感情をコントロールするには太陽と月の情景に似ていると言う。太陽のように外に向かう力（怒りや不安等どうにもならない時）に意識をコントロールするには月のような内に向かう意識に方向転換ができる事をする（怒りや不安を感じたことを紙に書くなど）落ち着いて怒りや不安の原因が明らかになり、その結果、客観的な判断ができ、怒りや不安が無意味化され、心が解放されると言う。一方、内に向かう深い悲しみや寂しさにさいなまれている時にも、それを紙に書くことで外に向かう意識に転換できて自分を外から見つめ直すことができるので気持ちの整理がつき、新しい希望の光が見えてくるそうです。ちなみに私は毎日の出来事を書き留めています。物忘れが多くなったことも有るが、皆さんからの問や、事件、商談内容を正しく記録し判断するためと対応策を考えなければならない立場だからなのですが、書いていると会話している時には興奮していた心が落ち着いていくことにきづく。親子でがちゃがちゃ言い合っても心の底で仕方ないな～とあれこれ手を出す自分も居る。一日の終わりに月を見る習慣も特にこの時期はよいものだと思う。皆さんもだまされたと思って何かあったら日報やエコドライブ管理表のコメント欄にぼろっと何か書いてみて!! 仕事上のイライラや人間関係の修復のヒントが浮かぶかもよ。



10月にお誕生日を迎える皆さん



9月に紹介できませんでした！ごめんなさい 9月24日 平塚横低便 岡本和樹  
 10月21日 平塚シモハナ便 金田文範 10月16日 本社 横低便 比嘉正人  
 10月20日 鈴木運送(株)会長 鈴木成正